

2025年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	日本国憲法		教員氏名	曾我幸男	
科目ナンバー	I-1-4				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	弁護士	28年
テーマ	日本国憲法の基本的な問題について、具体的な事例を踏まえながら立体的に理解する				
ディプロマポリシー	1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	東京弁護士会に所属する弁護士。民事事件のほか、家事事件、刑事事件など幅広い事件を担当。毎回学ぶべきテーマを設定し、実務経験も交えながら、具体的な事例に基づく講義を行うとともに、事例・問題点等について学生と意見交換をしながら、憲法に関する基本的な問題の理解を深めていく。講義形式を基本としつつ、学生にも積極的に議論に参加してもらい、可能な限り双方向的な授業を目指す。				
授業の到達目標	①知識・理解 基本的人権の内容・重要性、民主政治の仕組みについて説明することができる。				
	②技能 社会で起きた出来事から、憲法上の問題点を抽出し、憲法の観点から考察できる。				
	③態度 各種事例に関する議論について、積極的に参加して討議できる。				
テキスト	目で見える憲法【第5版】 初宿正典ほか 有斐閣				
参考書	なし				
ポートフォリオ					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験				
	授業内課題 参加度 出席態度等	70	達成度確認テスト50% 授業態度と意欲20%		
	その他	30	授業外レポート30%		

授業概要と課題		
第1回	テーマ 内容	憲法の基本、立憲主義、憲法の基本三原則、子ども・外国人の人権を学ぶ
	授業外学習	(予習)テキストPART I、II 1 権利の主体を読み、憲法の基本原理と人権について下調べすること。(復習)立憲主義の意味を理解すること。子ども及び外国人の人権がどこまで認められるのか、具体例にしたがって検討すること。 210分
第2回	テーマ 内容	幸福追求権、プライバシー権、自己決定権について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 2を読み、プライバシー権の内容について下調べてくること。(復習)授業で扱ったプライバシーや自己決定権に関する各事例に関するディスカッションを踏まえて自分の考えをまとめる。 210分
第3回	テーマ 内容	法の下での平等について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 3を読み、平等原則違反が問題になったものとしてどのような事例があるか下調べておくこと。(復習)授業で提示されたレポート課題に取り組む。 210分
第4回	テーマ 内容	思想良心の自由、信教の自由について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 4①②を読み、信教の自由とはどのようなものなのか、下調べてくること。(復習)身近なところで信教の自由や政教分離原則違反が問題となる事例がないか調べる。 210分
第5回	テーマ 内容	表現の自由について学ぶ(その1)
	授業外指示	(予習)テキストPART II 4③を読み、表現の自由とはどういうものか、なぜ重要とされているのか、下調べてくること。(復習)表現の自由の重要性と、民主政治との関係について掘り下げて考える。 210分
第6回	テーマ 内容	表現の自由について学ぶ(その2)、学問の自由、経済的自由について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 4④、5を読み、経済的自由とはどういうものか下調べてくること。(復習)職業選択の自由と財産権の保障について、具体的な事例を踏まえて掘り下げて考えること。 210分
第7回	テーマ 内容	人身の自由、適正手続の保障(罪刑法定主義等)について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 6、7を読み、罪刑法定主義について下調べをしてくること。(復習)授業で扱った事例について、自分なりに考えて、意見をまとめる。 210分
第8回	テーマ 内容	社会権(生存権、労働基本権)について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 8を読み、なぜ社会権が生まれたのか、なぜ必要なのかを調べてくること。(復習)社会権、労働基本権について掘り下げて考える。労働基準法により労働条件がどのように定められることになっているか具体的に調べる。 210分
第9回	テーマ 内容	参政権、国務請求権、国民の義務、三権分立、行政権と議院内閣制を学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 9、10、11を読み、参政権の内容を下調べてくること。(復習)テキストPART III 2を読み、議院内閣制の趣旨や解散の意味を掘り下げて考える。 210分

第10回	テーマ 内容	立法権と国会の制度を学ぶ	
	授業外指示	(予習)テキストPARTⅢ1を読み、議員の地位、及び法律が成立する過程を調べること。 (復習)衆議院の優越がどのような場面で認められているか、なぜ衆議院が優越するのか、掘り下げて考える。	210分
第11回	テーマ 内容	司法権の意義と裁判のしくみ、違憲審査権について学ぶ	
	授業外指示	(予習)テキストPARTⅢ3を読み、裁判所の種類、裁判のしくみを調べること。 (復習)裁判官の独立、司法権の独立の意味、司法審査権について掘り下げて考える。	210分
第12回	テーマ 内容	天皇制、財政制度、地方自治、憲法改正とその限界について学ぶ	
	授業外指示	(予習)テキストPARTⅣ4～7を読み、天皇の地位、天皇が行うことを調べること。 (復習)地方自治の本旨、憲法改正とその限界などについて、掘り下げて考えること。	210分
第13回	テーマ 内容	具体的事例に基づき、憲法を横断的に理解する	
	授業外指示	(予習)これまでの配布資料を再確認する。 (復習)事例問題について自分の考えを整理する。	210分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート課題については、添削したうえで返却するとともに、授業内で詳しく説明してフィードバックを行う。

2025年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	日本国憲法		教員氏名	豊島健司	
科目ナンバー	I-1-4				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	弁護士	27年
テーマ	日本国憲法について事例を通じて考える。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	神奈川県弁護士会に所属する弁護士。刑事、民事、家事事件を担当。講義では具体的事例を前提として、様々な見方があることを学び、憲法の趣旨に基づく解決する力を高める。また、新しい人権課題や子どもの権利の問題も積極的に取り入れ、憲法が身近な問題であることを理解する。講義形式を取りつつ、学生の意見を聞き、参加してもらうことで理解を深めたい。				
授業の到達目標	1 立憲主義、法の支配、個人の尊厳等、憲法の基本的な理念を理解することができる。 2 事例に接することで自らの意見を持つこと、他者の意見についても検討することができる。 3. 子どもの権利等人権問題について深く理解することができる。				
テキスト	無し。レジュメで行う。				
参考書	基本的人権の事件簿(第7版) 棟居快行ほか 有斐閣選書 目で見える憲法(第6版) 初宿正憲ほか 有斐閣				
ポートフォリオ					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	80	授業内テスト、リアクションペーパー		
	その他	20	レポート		

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	憲法の理念(立憲主義、法の支配、個人の尊厳)、国民主権、権力分立、公共の福祉	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第2回	テーマ 内容	人権の内容、人権享有主体、幸福追求権(13条)、新しい人権(その1)(13条)	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第3回	テーマ 内容	新しい人権(その2)(13条)	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第4回	テーマ 内容	法の下での平等(14条)、婚姻の自由(24条)	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第5回	テーマ 内容	思想・良心の自由(19条)、信教の自由(20条)、学問の自由(23条)	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第6回	テーマ 内容	表現の自由(21条)、集会・結社の自由(21条)、	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第7回	テーマ 内容	居住移転の自由、職業選択の自由(22条)、財産権(29条)	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第8回	テーマ 内容	生存権(25条)、教育を受ける権利(26条)、勤労の権利(27条)、選挙権(15条)等	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第9回	テーマ 内容	適正手続(31条)、裁判を受ける権利(32条、37条)、令状主義(33条、35条)、弁護士依頼権(34条、37条)、黙秘権(38条)、死刑制度	
	授業外学習	事前に配布するレジюмеで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分

第10回	テーマ 内容	国会(41条以下)、国民主権、選挙制度、内閣(65条以下)	
	授業外学習	事前に配布するレジメで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第11回	テーマ 内容	司法権(76条以下)、違憲審査権(81条)、裁判の公開(82条)、裁判員裁判制度、無罪推定	
	授業外学習	事前に配布するレジメで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第12回	テーマ 内容	財政(83条以下)、地方自治(92条以下)、天皇制(1条以下)、憲法改正(96条)、最高法規(97条以下)	
	授業外学習	事前に配布するレジメで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分
第13回	テーマ 内容	平和主義(9条)	
	授業外学習	事前に配布するレジメで分からない用語を調べる。授業で扱った事例について自分の考えをまとめる。	210分

課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーやレポートを活用し、レジメや授業について学生の意見や疑問点を記載してもらい、講師がそれに回答することで問題意識を深め、憲法の理念に基づく自分の考えを得る。